

次期計画検討部会（第5回）における意見に対する対応について

(1) 全般的なご意見

項目	分類	意見	発言者	対応
副題	部会	<ul style="list-style-type: none"> ・明確なサブタイトルになっている。「体質」や「改革」は本文の中で数多く使われているため、例えば「体質」を「業態」というぐらいに、ものづくりの会社の「業態」まで変えるというぐらいの、もう一つ本文とは違ったインパクトのある言葉を考えてもらえればよりよいサブタイトルになると思う。 	太田専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・総合5か年計画と整合させるため、副題を修正しました。 ・副題（主要部分）では、文言として「生産性」を使用したため、「効率化や合理化によって、価値を創出することを主眼としたプラン」との印象を持たれる可能性がある懸念から、副題（補足部分）については、「新たな価値を創出する」という印象が持てるよう、「高付加価値型産業への体質転換」としました。 ・副題は、県内ものづくり産業全体の方向性を示すものとしたことから、文言としては、企業単体の状態等を示す「業態」ではなく「体質」を使用することとしました。 <p><参考> 体質：団体・組織などがもつ、性質や特徴。 業態：営業や企業の状態・体制。</p>
総括的な目標値	部会	<ul style="list-style-type: none"> ・1,350万円という額が全国的に見て、高いのか低いのか全く分からない。 	杉原専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・総括的な目標値の部分に、平成27年の全国平均額との比較、全国順位について追記しました。 ・ご意見を踏まえ、製造業の指標と県民所得との相関関係について整理しました（参考資料1参照）。
	部会	<ul style="list-style-type: none"> ・普通の人が見て、付加価値は分かり難いように思うため、付加価値額を選定したことが、もっと迫力のあるように、いわゆる地域を豊かにするという部分に何とか結びつける、プラスアルファの情報を入れてもらえると、この数字が持っている意味がもっと生きてくる、重みを増す気がする。 	森専門委員	
具体的な目指す姿の目標値	部会	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な目指す姿①ということで、「産業イノベーションの創出に向けた活動に取り組む企業の増加」とあるが、増加について目標値を設定する必要はないか。 	水本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「具体的な目指すべき姿」は「総括的な目指すべき姿」のもとに設定しています。本プランでは、「総括的な目指すべき姿」を実現した状態を示す「総括的な目標値」を設定します。従って、「総括的な目標値」を達成することは、「具体的な目指すべき姿」を実現した状態でもありと考えておりますので、「具体的な目指すべき姿」については、特段目標値は設定しておりません。

項目	分類	意見	発言者	対応
道筋（施策展開の方向性）	部会	・エコシステムを単純に聞いてしまうと自然環境に優しいや、エネルギー削減のシステムだと取られないか。	森委員	・ご指摘を踏まえ、「産業イノベーションの創出に向けた活動に取り組む企業の増加」を実現するための道筋（施策展開の方向性）を「県内企業による産業イノベーション創出活動の促進」に変更しました。
重点施策、プロジェクト	部会	・タイトルの前に番号を記載してほしい。	小澤部会長	・ご意見のとおり修正しました。
プロジェクトの目標値	部会	・高くしたとしても、達成できなければ意味がない。	水本委員	・ご意見のとおりと考えます。目標値については、挑戦的な設定をしながらも、明らかに達成困難な目標値は設定しておりません。
	部会	・各振興局に、目標値の裏付けとなる理由等も聞いてもらい、それを確認した上で、少ないようであれば上方修正をしてもらうというような形でよいのではないか。	水本委員	・各重点プロジェクトの現状値を踏まえ、設定した目標値が適当であるかを確認しました。 ・なお、目標値と現状値を比較できるよう、重点プロジェクトの様式に現状値を記載する欄を追加しました。
プロジェクトの追加	部会	・航空機ということで、今まで突出して論議してきたため、逆にいえば、それに関係しない方々が大きく声をあげていただいている。「我々もプロジェクトを作る」という論議にもなってきている。是非取り上げていただければと思う。	萩本委員	・南信州地域振興局から、新たなプロジェクトとして「健康増進と経済活性化に寄与する食品関連製造業の集積形成」の提案があったため、プロジェクトに追加しました。従って、プロジェクトの数は、15から16になっております。 ※重点施策にも、「IoT・AI等先端技術活用型新事業創出支援」を追加しております。従って、重点施策の数は、8から9になっております。
プロジェクトの推進方法	部会	・具体的に販路を担う個別の企業を入れるといった難しい面もあるため、今後進めるにあたり、その辺を十分配慮しながら進めていただければと思う。	県中小企業振興センター 上原常務理事	・ご意見を踏まえ、プロジェクトを推進してまいります。
推進体制	部会	・思いのあるプロジェクトリーダーをどのように見つけたり、育てたりするのかというのが、人材育成や教育の部分に明確に記載されていない。そのような人を見つけ出す、育てるということに記載できないものか。	森専門委員	・「思いのあるプロジェクトリーダー」の存在については、プロジェクトを推進する上で、大変重要であると考えており、そのような意味から、74頁の「プロジェクトの推進イメージ」の中には、「マネジメント人材」という形で記載しております。 ・「どのように見つけたり、育てたりするのか」という点については、今後、施策を構築する上で、検討してまいります。

項目	分類	意見	発言者	対応
イメージ図	部会	<ul style="list-style-type: none"> ・「エコシステム」であれば、上の図のように産学官金があり、個人、県民があってもおかしくない。これらの人達が融合し、イノベーションを起こしていくというのがコンセプト図だと思う。 ・「クラスターバレー」は、中核企業が、先ほどのプロジェクトリーダーとして立ち上がってきて、具体的に動き出す「エコシステム」の具体例というイメージではないかと個人的には理解した。 ・そのような概念であれば、そのような形で書いていただけるとありがたい。 	森専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージ図に、個人、県民をイメージできる図を追加しました。
	部会	<ul style="list-style-type: none"> ・図にも「エコシステム」、「クラスターバレー」の説明を入れるなど、より分かりやすくということをお願いしたい。 	小澤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見のとおり説明を追記しました。ただし、道筋（施策展開の方向性）の名称は変更しております。
	部会	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージ図を見ても、「地域の中で完結する」あるいは「地域から外に出していく」程度の図でしかなく、世界から「ヒト・モノ・カネ」を引っ張ってくるというイメージが非常に弱い印象がある。 	杉原専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージ図に、県外から「ヒト・モノ・カネ」を引き付けることをイメージできる文言、図を追加しました。
プランの構成	部会	<ul style="list-style-type: none"> ・「イノベーション・エコシステム」と「重点プロジェクト」の関係性が頭の中で整理できていない。上手く絡めて、是非推進してもらいたいと思う。 	水本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見のとおり、2つの道筋（施策展開の方向性）については、密接な関係性を持たせながら推進してまいります。

(2) 個別の重点施策、プロジェクトに対するご意見

項目	分類	意見	発言者	対応
地域資源活用支援	部会	・付加価値を生み出すため、コスト低減力という部分にもう少しスポットを当てていただきたい。	太田専門委員	・ご意見のとおり修正しました。
	部会	・80頁の下のK P Iがコスト低減等による付加価値額ということを入れていただいている。この要素を82頁にも盛り込むということ。	小澤部会長	・80頁（課題解決型企業群形成支援）のK P Iの項目でコスト低減等による付加価値額の目標を設定しています。ご意見のとおり、コスト低減が付加価値額の増加に貢献することに鑑み、82頁から83頁にわたる「地域資源活用支援」では、「重点施策における主な取組」の文中で、コスト低減の観点を反映しました。
	部会	・コスト低減という守りの部分と攻めに近い部分の両刀使いというか、上手くやっていくという観点が必要。	森専門委員	・ご意見のとおり修正しました。
マーケティング支援	部会	・「各ビジョンの実現に向けたマーケティング支援センターの機能強化」と書いてある以上は、各ビジョンに対応して「このビジョンに対しては、こういう支援機能を強化した」ということを記載すべき。	県テクノ財団 小林専務理事	・ご意見のとおり、各ビジョンに対応して記載しました。（＜重点施策の全体像＞欄に記載）
産業人材育成支援	部会	・「コンソーシアム」の仕組等の具体化が必要。	萩本委員	・詳細はこれから関係機関と調整していきますが、産学官が連携企画して成長期待分野等の人材育成に係るモデル事業を実施し、その効果を検証しながら全県への波及を促進していくことを考えております。 ・構成員の役割については、下記を想定しています。 産業界：人材育成における課題、問題点の整理 人材育成機関：課題解決に係る人材育成メニューの提供や開発 行政：コーディネート、情報発信
	部会	・産業イノベーションの創出に資する人材はどのような能力を持った人材を育てるべきなのかという、理想的な人材像を明確にして、それを育成するプログラムを作っていただきたい。もう少し突っ込んだ記載をすることが必要。	県テクノ財団 小林専務理事	・ご意見を踏まえて、重点施策の概要を一部修正しました。 ・具体的な育成プログラムは、今後の施策構築の中で、検討してまいります。
産業人材確保支援	部会	・高度な知識を身につけた定年退職者の知識、技術をより活用する仕組みを作るということを明確に記載してほしい。	森専門委員	・重点施策の全体像の中で、人材確保について高齢者の部分を修正しました。

項目	分類	意見	発言者	対応
起業・スタートアップ支援 (創業支援)	部会	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一創業しやすい県のビジョンを持たないと、それを具現化する方策も検討できない。もう少しその辺を戦略的に取り組まないとまずいと思う。 	県テクノ財団 小林専務理事	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として承り、今後の施策構築の参考とさせていただきます。
	部会	<ul style="list-style-type: none"> ・創業の支援をするという事は、もう少し、本業以外の部分で創業したい人の足を引っ張る社会的な仕組みや制度が多数あるということで、そのような部分を援助するような仕組みを提供してあげればものすごく楽になり、創業しやすいということにつながると思う。 	萩本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現在実施している「専門家派遣事業(創業者向け)」の更なる周知・活用を図るとともに、創業者の意向に沿った専門家への橋渡しを行います。
	部会后	<ul style="list-style-type: none"> ・香港は世界で最も創業しやすい国と言われているため、取組の参考にしてもらいたい。 ※香港では、1円会社を設立し、創業者に渡すような支援をしており、創業者は会社設立等の手間が省け、その分本業に注力できるとのこと。 ・インキュベーション施設による支援もお願いしたい。 	萩本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として承り、今後の施策構築の参考とさせていただきます。 ・インキュベーション施設による支援については、県創業支援センターにおける技術支援等により対応してまいります。
航空機システム産業の集積形成	部会后	<ul style="list-style-type: none"> ・「航空機システム産業の集積形成」のみ金額的な目標値が設定されていない。金額的な目標値は典型的なアウトカム指標であり、他のプロジェクトとのバランスもあるため設定してほしい。 	萩本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機産業は、参入してから事業として成り立つまでに相当程度の年数を要することから、5年スパンでのKPIを金額ベースで判断することが困難であるため、KPIは、長野県航空機産業振興ビジョンの目標値と同一とさせていただきます。ただし、特区指定地域企業へのヒアリング等を通じ、施策の効果等については調査してまいります。